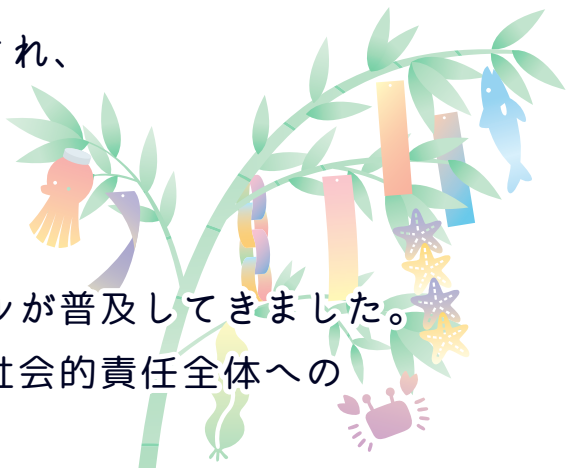


1980年代には、獲る漁業は乱獲の権化とみなされ、
また魚は水銀やダイオキシンが含まれるとして、
魚を食べないように勧める学者もいました。
他方、寿司や魚食は世界に拡大していて、
持続可能な漁業と乱獲漁業を区別するエコラベルが普及してきました。
さらに、ほかの産業界と同様に、労働環境など社会的責任全体への
配慮が求められるようになりつつあります。



消費者が求めるものと社会が求めるものの共通点と相違点から、
消費者にとっての魚食問題を考えます。

漁業の 今と未来を考える

参加費
無料

SDGsと水産物



垣添 直也(かきぞえ なおや)

(一社) マリン・エコラベル・ジャパン
協議会 会長
日本水産(株)入社、1999年～2013年代
表取締役社長。この間、大日本水産会副
会長、日本冷凍食品協会会長、日本冷蔵
倉庫協会会長、日本輸入食品安全推進協
会会長、食品産業中央協議会会長を歴任



松田 裕之(まつだ ひろゆき)

横浜国立大学名誉教授・学長特任補佐
生物の適応進化・持続可能な漁業・生
物の絶滅リスクなどを研究。
日本生態学会元会長、海洋政策学会理
事、国際捕鯨委員会・生物多様性条約の
日本代表団、防衛省の辺野古や経産省の
愛知万博の環境影響評価委員を務めた。

日時 2023年7月7日(金)
14:00～16:00

会場 東京都千代田区六番町15 プラザエフ 3F 主婦連合会会議室 及び
オンライン(Zoom)併用
〒102-0085 東京都千代田区六番町15
[JR四ツ谷駅 麹町口 徒歩1分][地下鉄南北線/丸ノ内線四ツ谷駅徒歩3分]

定員 会場参加/定員50名まで オンライン/定員100名まで

お申込み お名前、連絡先(電話、メールアドレス)、参加方法(会場参加/オンライン)を
下記主婦連合会事務局までお知らせください。



主婦連合会 Tel.03-3265-8121 E-mail.info@shufuren.net

主催：主婦連合会・(一財)主婦会館